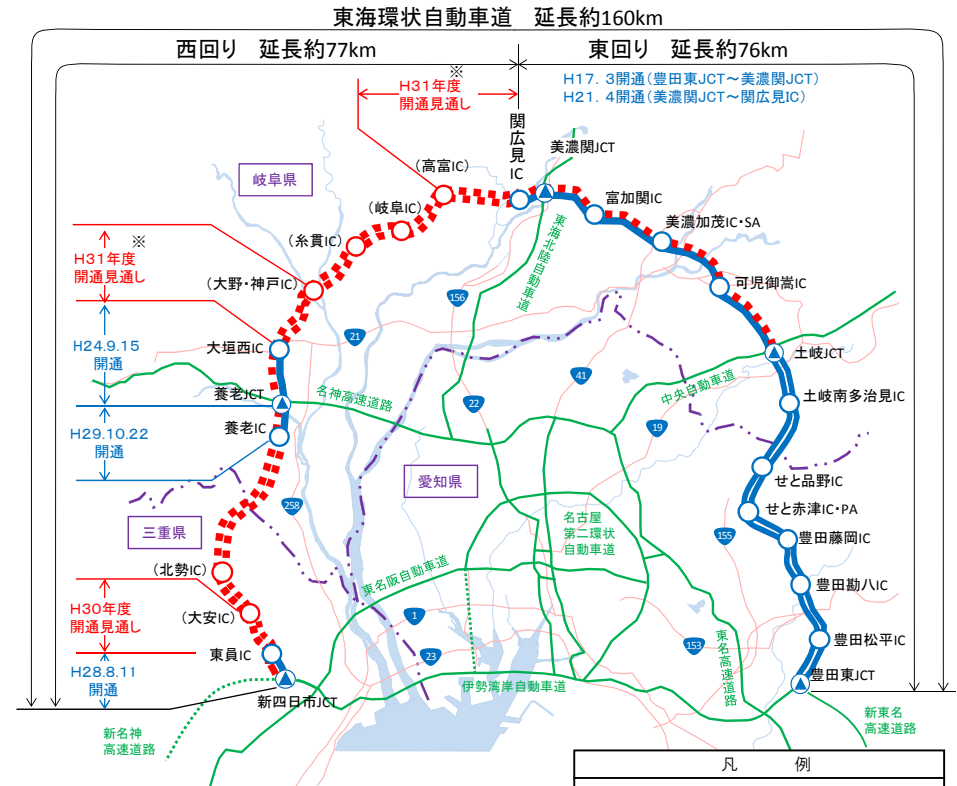


区間	延長	主な状況	備考
関広見IC ～ (高富IC)	8.4km	【用地】 用地取得中 【工事】 トンネル6本のうち4本貫通(北野・三輪・大洞・小洞) 広見TN工事に着手予定、岐阜山県TN工事、橋梁上下部工事、改良工事を推進中	平成31年度※ 開通見通し
(高富IC) ～ (岐阜IC)	6.1km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【工事】 改良工事を推進中 TN工事に着手予定	
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	6.3km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【調査】 埋蔵文化財調査を推進中	
(糸貫IC) ～ (大野・神戸IC)	6.8km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
(大野・神戸IC) ～ 大垣西IC	7.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事、改良工事を推進中	平成31年度※ 開通見通し
大垣西IC ～ 養老JCT	6.0km	平成24年9月15日開通	
養老JCT ～ 養老IC	3.1km	平成29年10月22日開通	
養老IC ～ (北勢IC)	18.0km 岐阜県区間9.0km 三重県区間9.0km	【用地】 用地取得中 【調査】 埋蔵文化財調査、橋梁・道路詳細設計を推進中 【工事】 工事用道路建設を推進中	
(北勢IC) ～ (大安IC)	6.6km	【用地】 用地取得中 【調査】 道路詳細設計を推進中	
(大安IC) ～ 東員IC	6.1km	【工事】 橋梁上下部工事、改良工事を推進中	平成30年度 開通見通し
東員IC ～ 新四日市JCT	1.4km	平成28年8月11日開通	

【延長】未開通: 国土交通省の事業計画延長による 開通済: 中日本高速道路(株)の管理延長による ※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。
本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

<トピックス>

■養老JCT～養老IC開通記念イベント



平成29年10月7日、開通記念イベントとして「ハイウェイウォーキング」が開催されました。町内外から訪れた約4,100名の参加者は、開通前でしか味わうことができない高速道路上からの養老町の自然豊かな景色や各種イベントを体験しました。
また、復活した「養老サイダー」など、地元養老町をはじめ、沿線地域から20を越えるグルメブースが設けられ、多くの参加者がご当地グルメに舌鼓を打ちました。

■東海環状西回り利活用促進会議



平成29年9月14日、東海環状自動車道を利活用したまちづくりを支援するため、岐阜・三重両県の自治体や経済団体等がまちづくりの情報を共有する場として、当会議を開催し、約100名が参加しました。
会議では、観光における西回りの必要性及び利活用促進に関する意見発表のほか、東海環状自動車道、アクセス道路、民間開発の3者が一体となった、まちづくりの先進事例が紹介されました。



愛称「MAGロード」
三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせて「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

東海環状自動車道(西回り)現場状況

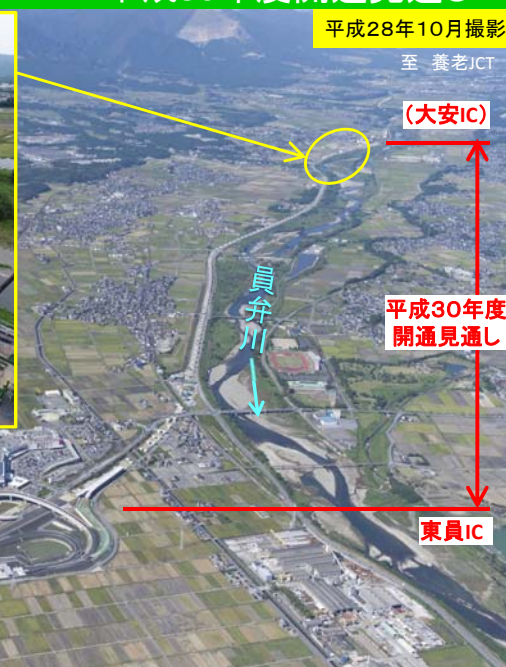
■ 養老JCT～養老IC

平成29年10月22日 開通



■ (大安IC)～東員IC

平成30年度開通見通し



■ 関広見IC～(高富IC)

平成31年度開通見通し



■ (大野・神戸IC)～大垣西IC

平成31年度開通見通し



■ (高富IC)～(大野・神戸IC)



■ (北勢IC)～(大安IC)

